

**問** (野口議員)

チャレンジプラン事業費補助金は、前年度大幅減額補正であった。今年度も2200万円組んである。計画どおりうまくいくのか。

全体に、農業のやり方が難しくなってきた。もう少し皆さんが楽しんで暮らすような補助事業を町独自でも考えられないか。

**答** (山口町長)

厳しい財政の中で町の基幹産業である農業、これをどのようにして活性化を図っていくのか、大きな課題である。

大山恵みの里構想の中で、その農業を単に農業に留まるのではなく、他の産業と特に観光との連携を図りながら付加価値を付けていく、そういった取り組みを今懸命にやっているとある。

個々の農業施策に対して町が独自の補助金を出すのは厳しい状況にある。

**観光**

**問** (近藤議員)

にぎわい復活事業で公有財産購入費4200万円が計上されている。どのように施設で、どのよう

**答** (福留観光商工課長)

大山めぐみの里づくり

計画に関連する事業で、大山寺にある林野弘済会所有の眺海荘および大山グリーンロッジ2施設の取得費である。眺海荘は、参道の入口に位置しており、この特質を最大限に生かせる、お客様を長時間にわたって引き付けるような、新しい魅力のある施設にしたい。具体的には、ワイ



新しくワイナリーに (旧眺海荘)

ンを醸造し提供する。あるいはスローフードレストランとか、体験型観光のツアーデスク、そういったものの設置を想定している。

大山グリーンロッジは、スキー場の入口に位置しており、1階は現状と同じく、スキー用品のレンタルショップとして収益事業を、2・3階は大山

スキー場の総合窓口、スキー場管理組合の諸事業の拠点、スキーパトロールの本部施設や詰め所兼宿直所、臨時の大山寺診療所等に改装を考えている。

また、譲渡していただく大山観光センターは、大山アートギャラリーを考えている。

**放課後児童クラブ条例**

**問** (吉原議員)

利用料月額3000円、8月は5000円。親の負担が大変である。大山町が教育に熱心だということ内外に示すためにも無料にすべきと考える

が。

**答** (高木幼児教育課長)

利用は一部の児童だけであり公平性の観点から、有料化を提案した。県内市町村で無料のところはない。西部で39の児童クラブがあり、平均3615円である。

**問** (川島議員)

無料にして、特に子育てに力を入れていらっしゃるんだとせば、大山町に若者を引き寄せられるのでは。

**答** (山口町長)

子供を育てる親を支援するのが子育て支援であり、子供を預かるのは子育て支援ではない。

子育て支援の基本は保育所であり小学校である。大山町として特色ある子育て支援、あるいは教育が若者の定住につながる。児童クラブを無料にすることが定住化につながると思わない。

実して、クラブの連携を一層強め、指導内容の充実に努めるとあるが、専門職員とは。

**答** (山田教育長)

食育なら栄養職員、あるいは田植えをし草取りをして収穫をし餅をつく、そういうことを仕掛ける専門職員、読み聞かせができる人、こういった人が各クラブを巡回する。今回は、教師が保育士資格者と考えている。

**人権擁護委員に同意**

任期満了になる人権擁護委員に、新たに金田千義氏(古御堂)を推薦したいという町長からの提案に対し、適任であるとして全会一致で同意した。



金田 千義氏

**問** (岡田議員)  
新年度は専門職員を充